

令和7年度 こども園（保育園）関係者評価
園評価・評価委員最終評価シート
子育てセンターすぎのこ

こども園（保育園）関係者評価委員会による評価

対象評価： 最終評価

評価日時： 令和 8 年 2 月 20日（金） 10：00～11：00

【こども園（保育園）関係者評価委員会構成】

学識委員 1名 地域委員 1名 保護者委員 2名

【園の教育・保育目標】

自然いっぱい、笑顔いっぱい、生き生きとあそぶ子

【本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画をもとに設定した
こども園（保育園）評価の具体的な目標や計画】

職員の自己実現に向け、その資質や専門性をより発揮させるため、今以上の人材育成と能力開発に取り組みます。
～子どもたちと一緒に絵本の世界を楽しみ、感性や想像力を育みます～

【評価基準について】

- 4・・・十分に達成されていた
- 3・・・ほぼ達成されていた
- 2・・・取り組みは見られるが達成が十分ではない
- 1・・・取り組みが不十分であった

項目	園評価		評価委員最終評価	
	評価	評価理由	評価	評価理由（評価委員から）
I. 目標の理解 1. グランドデザインを理解している 2. グランドデザインを意識している 3. 重点目標を意識している 4. 重点目標を意識して取り組んでいる	4	子どもや保護者がより絵本に親しめるようプロジェクトを立ち上げ、改善に取り組んだ。他クラスの職員が読み聞かせをしたり、貸し出しの環境を整えた事で絵本に親しむ姿に繋がった。又、貸し出し方法を改善したことで、絵本を借りる子どもたちが増えた。	4	絵本の貸し出しの改善を保護者会の方と一緒に検討しながら行う事ができ、借りる人数が昨年よりも倍以上増えた効果があり良かった。家庭でも読み聞かせをする事で親子の接点が増えたのではないかと。絵本を題材にクッキングを行い、家庭でも話に出たり作ってみたりと、園と家庭の活動が繋がっていた。
II. 教育・保育の計画性と内容 1. 指導計画の作成 2. 環境への配慮 3. 教育・保育活動の実践 4. 計画と実践の評価・反省	4	秋季研修で子どもが遊ぶ環境を見直し、年齢の枠を超えて部屋を行き来して遊び込めるように改善した。花については、福島ひまわりプロジェクト（天竜商工会より依頼）の行事で水やりや世話を行う事ができた。カブト虫の幼虫やカニなどの身近な生き物を家庭から持ってきてくれて、園の玄関に置く事で身近に観察ができていた。	4	福島ひまわりプロジェクトについて、良い取り組みをしているのがわかった。野菜作りについては、育てる過程をととても楽しんでいる様子が見られ「家でも育ててみたい」声があった。絵本の“くじらがしんだら”“そうのうちはまわる”等自然や環境に関心が持てる本を整えていくと良い。

<p>Ⅲ. 子どもにとっては</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. あなたらしさが認められる 2. 安心してすごせる生活 3. 自然に触れて心ゆくまで遊ぶ 4. いろいろな人の中で自分を知る 	4	<p>小規模園ならではの異年齢交流の機会を持ち、その中で子どもたちが生き生きと自分の思いを出せていた。近隣の高校や消防署など、周辺施設にも気軽にいく事ができた。秋以降は熊の影響で例年と比べて自然に触れる経験は少なかったが、地域の方と様々な交流の機会が持てた。</p>	4	<p>熊の影響は大きかったが、中でも目的地を変更し子ども達の経験のためにより良い選択をしてくれていたと思う。清掃工場のエコテラスは、いつでも見学が無料ででき、眺めの良い展望台もあるので園児たちと見学に行ってみてはどうか。</p>
<p>Ⅳ. 家族にとっては</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 気軽に話ができる 2. 教育・保育に参加できる 3. 必要な情報が得られる 4. 教育・保育を通して地域に親しむ 	4	<p>プール参観・親子で遊ぼう会・親子リズムなど、保護者も参加できる行事を設けた。また、オリエンテーションの中でこどものとも社・田力様より絵本について講演会を行っていただき、保護者の方に「大切さがわかりました」「もっと読んであげたい」等の感想があり良かった。地域の祭りを通して園内でも祭りの経験を取り入れた遊びを楽しむ事ができた。</p>	4	<p>保育参加で普段の様子を見られて良かった。保護者側も、楽しみに参加している。親子で遊ぼう会やリズム参加など、見るだけでなく参加できる事が良いと思った。親子で遊ぼう会は、父親の参加が多く、保護者同士を知るきっかけにもなっていると感じた。</p>
<p>Ⅴ. 地域にとっては</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 誰でも親しく訪ねられる 2. 園の内容がよくわかる 3. 困った時に頼りになる 4. 子育てに夢がもてるように 	4	<p>おまかせ保育システム・ブログ・法人インスタグラム・園内掲示などで、活動の内容を知らせ、保護者や地域の方に園の教育・保育を理解していただく機会となっている。</p>	4	<p>おまかせ保育システムのメールでのお知らせは、タイミングによっては見落とししてしまう事がある。内容により重要な物は件名に【重要】と記載してもらえると良い。お知らせの内容が月や週をまたぐ時は必ず再度周知してもらえると有難い。法人でインスタグラムをすぐに取り入れられて良かった。</p>
<p>Ⅵ. 保育者にとっては</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 個性がいかされる 2. 快適な職場づくり 3. 生活や遊びの文化が伝えられる 4. 視野を広げて自ら学ぶ 	3	<p>もちつきの集い・ひなまつりの集いなど伝統ある行事を行い、次の世代に繋がるようにする事ができた。子どもが遊ぶ環境の見直しについては、改善したものの、課題が残る結果となったため、次年度以降に引き続き取り組んでいく。また、常に、使ったものを元に戻すよう整理整頓するのが課題である。</p>	4	<p>布団を出し入れする際に、部屋の環境が変わっていたので、見直しをしたのだと感じた。濡れた衣服を洗ってくれたり、室内の環境も見ても掃除がされていると感じている。環境の見直しを行っている話から、その都度改善ができていていると思った。</p>